

弓道 いばらき

令和7年7月 第47号

発行者 土浦市並木1-7-14
茨城県弓道連盟
理事長 後藤 裕一
<http://ibakyuren.com>

令和七年度に向けて 会費値上げのお願い



茨城県弓道連盟 会長 中嶋 鉄郎

会員の皆様におかれましては、県連の行事・活動に對しまして、ご理解・ご協力・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

令和7年度の県連運営につきまして、次の3つの項目に分けてご説明をさせていただきます。

1 県連運営費について

昨年度、納税のために基金700万円を取り崩して県連運営資金に組み入れさせていただきました。財政再建のために、大会、審査会、講習会、強化練習会等すべての部署で経費削減に努めて参りました。結果、当初の見通しより経費削減の効果があり800万円超の次年度への繰越しができました。会員の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

しかしながら、この削減だけでは県連事業を安定させることは困難です。物価高騰、インバウンドに伴う宿泊費の上昇、熱中症対策などへの対応を考慮した予算シミュレーションをいたしましたところ、5年後には赤字決算に陥る可能性があることが判明しました。

そこで会員各位には今年度から年会費千円増のご負担をお願いするとともに、審査のある3大会（春季大会、県選手権決勝大会、段位別大会）の参加費を千円増といたします。また、すべての講習会参加費を2千円とさせていただきます。この措置は今後の事業維持に必要不可欠なことであることをご理解いただきますようお願い致します。

2 ハラスメント防止について

令和6年度の全国地連会長会議が3月17日18日に開催されました。研修会において加藤会長が最初に述べられたことが「ハラスメント厳禁」ということでした。特に印象的な言葉として記憶に残っていることを挙げます。

- ・相手のことを思って厳しく言ったとしても現在は許されない。
- ・相手が「嫌だな」と感じたらハラスメントである。

・このような時代に対応して指導していく必要があることを肝に銘じていただきたい。

指導者は相手とのコミュニケーションをとりながらお互いを理解し合い、信頼関係を育むことが重要です。しかし、信頼感の程度の深さと信頼度の感覚は必ずしも相互に一致するものではありません。このことを指導者は見誤る危険性があります。相手との信頼関係が構築されていると思ひ込み、ハラスメントに陥る可能性を潜んでいることを知っておくべきだと考えます。「信頼」を計る計器は存在しないのです。

弓道は生涯スポーツとしてたいへん優れたスポーツです。「弓道を続けて良かった」と思える弓道人を育成していくこと、その環境を維持していくことが求められています。過去には許されたことが時代とともに許されない行為であるという認識を持つこと、指導者は常に新しい感覚を磨き、環境に適した指導力を備える努力を続けることが大切です。

そして、茨城県弓道連盟として「ハラスメントを決して許さない」という前提に立つて活動してまいりますので、ご理解とご協力をよりしくお願い致します。

3 これからの茨城県弓道連盟としての弓道のあり方について

(1) 全国で活躍できる若手育成

「若手育成」を大きな課題として取り組んでいます。特に全国に通用する選手を育成することが求められています。令和6年度の関東地域、全国の大会における例を2つ挙げてお話しします。

7月実施の全日本選手権大会関東ブロック大会では、男子2名、米山良美選手、尾吹将大選手、女子2名、大森絵鈴選手、吉村静華選手が通過し本戦に臨みました。関東地域連合会は男女各8名ずつの出場枠がありますが、本県は最多でした。またR7・3月実施の都道府県対抗弓道大会では、大森絵鈴、松尾一郎、久保田亮、宮川晃弥、境貴洋の5選手が出場してベスト8進出を果たしました。

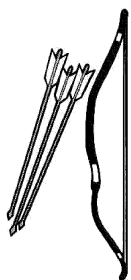
しかしながら、国民スポーツ大会も含めて、残念ながらあと一步のところで全国レベルに達していないのが現状です。先日、の代議員会では、3名の範士の先生方から「教本では、技は技に優先する」とあるが、「技は技に優先する」であって、まず技術を習得すること。」というアドバイスをいただきました。（柴田先生の論稿をご参照ください。）

(2) 弓道を楽しむ

もう一つの道は、毎日の弓道を楽しいものにする事です。県大会で優勝または入賞を目指すこと、講習会に参加して弓道の技術を向上させること、昇段を目指すこと、周囲の弓道仲間と楽しみながら稽古を続けること等々、それぞれの目標を持つことは、弓道を通じて自らの人生を豊かにすることになります。

ある先輩が、「弓を続けていて、最後に、離れをどのように出せばよいかを追究したい。」と話して下さいました。このように目標を明確にして弓を続けることが、弓道のもう一つの道ではないかと考えます。

令和7年度も中期に入っている頃かと思いますが、様々な課題解決のために過去にとらわれることなく、最適な方法を模索しながら取り組んで参りますので、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶



経理部 部長
白井 一也

今年度より経理部長を仰せつかりました。精一杯務めさせていただきますと思います。前任の新井先生におかれましては経理部設立の大変難しい時期をまとめられました。令和6年度途中で退任されました。年度の途中から業務を引き継ぎましたが不慣れな点が多く、ご迷惑をかけながらも令和6年度決算をまとめられたことは、中嶋会長、後藤理事長、各役員の皆様のご指導のおかげと深く感謝しております。

が急務な状況でした。

1. 県連盟収支の現状把握

各部で経費削減策は行っているが、どれほどの効果を出しているのか。中間期で全体の収支状況を算出することから始めました。既に行っていた経費削減策は、競技会に参加する部員への交通費は支給しないことや自動車相乗りでの交通費削減、褒章品や消耗品、お弁当代等の支出削減があげられます。その効果もあり令和6年10月時点では、当初予算した令和7年3月末の状況よりも収支がある程度改善される予想となりました。それでも赤字予想であることに変わりなく、更なる収支改善策が必要であることが分かりました。

2. 赤字計上となる問題点の改善

問題点を改善するため、5回の会計会議をWEB上で行いました。収支を改善し、県連盟がより活動的であるためには令和7年度から年会費額を上げる必要があります。県連盟自身も経費削減の為に下記4点について見直すことになりました。

- ① 3万円以上の備品購入については、全て会長の決裁をいただきます。また、県連盟全体の備品台帳を作成することにより重

複して購入することが無いようにしました。

② 納税について、源泉所得税を削減するために、日当交通費、役員の年間手当を見直すことになりました。

③ 日当については他県の状況と比較して、他県並みに引下げることになりました。交通費については現状のガソリン価格、車の走行距離等を勘案して10円、1kmの支給に見直し、令和7年1月から実施しています。

④ 県連盟役員の年間手当も同程度の比率で引下げることになりました。

3. 収支改善のための5カ年計画書の策定

会計会議で話し合った結果、県連盟としての目的(目標)を持ち、長期的な計画を立てて資金繰りの改善を行うこと、かつ毎年計画の進捗管理を行った方が良いという結論になり、5カ年収支計画書を策定することになりました。

【5カ年収支計画書の策定目的】

① 県連盟の財務状況を改善し、安定的に預金を積み上げていく。

② 今後の物価高騰や出張旅費の増加へ対応していく。

③ 国スポ関東ブロック大会等、

今後茨城県内で実施される大規模イベントに向けて資金を確保していく。

④ 作業をする部員の方々の業務環境改善のための体制整備をしていく。(熱中症対策、防寒対策等)

⑤ 令和10年度までに取崩した700万円を基金に返還することを目標とする。

令和10年度までには繰越金を約1,400万円まで積み上げ、そこから700万円を基金に返還することを目指していきます。この5カ年収支計画書を理事会、代議員会にて説明し、承認をいただきました。

いまの県連盟は資金不足の状態ですが、必要な資金が必要な時に使えるように、資金繰りを潤沢にしていくことが経理部としての最大の目標です。強い茨城県を取り戻すために経理部として何が出来るのかを経理部員の皆さんと考えながら貢献していきたいと思

います。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。



茨城県弓道連盟 名誉会長

範士九段 柴田 猛

一人ひとりの射技の向上と的中率の向上に努めることが大切です

大三では弓手を押すのではなく、手の内に弓の負荷を感じる大三です。力を抜いて受ければ

基本体型の確立
縦横十文字の規矩
足、腰、
脊柱、頸椎の縦線と両肩、両肘
両手首の横線の十文字規矩の基

3 呼吸（息合）
吸う息で動作を行えば生気体

となる（動作に呼吸を合わせる場合もある）。呼吸を伴わない動作は**死気体**となる、呼吸の使い方が離れに影響が出るので心して行射して欲しい。

鴨川先生は目のある所に気が
あると言われていました。目が
動くことは心の集がおろそか
になる。目は顔の中心にあり、
顔を横に向ける時も顔の中心に
ある。目が動いてはいけない。
心・気の働き

い（不動の心・体）。
 禅僧沢庵は「有心」とは「一か所に心を置くこと」で、「無心」とは「体全体に心を置くこと」と言っている。弓道に置き換えると、会では無心でなければならぬ。その手段としては心・身体があれこれ騒がないことです。

○ 1 どうすれば中るようになるのか
中りは大三にあり（大三で
の弓手の受け方）

2
引き分け

肩甲骨の下側を狭めながら会に入り、会に入ると同時に狙い口割、胸弦の的中三要素が決まる。次に両肘を詰め、肩甲骨下側を開きながら、胸筋を開きながら伸び合い、妻手肘と角見を伸び合い、丹田で我慢をし、離れのタイミングを待つ。離れの誘いは、角見を押しきる瞬間が離れ（残身の位置をイメージしながら耐えている）。私は右記の様に引いてるつもりです。

○ 誰もが上がる（上がらない人は100人に一人くらい）

○ 上がり症と思っている人は誰も上がっているんだと思って行射してください

上かつた状態でも的中は伸びる。大学に入り弓道部へ入部、1年生の4月から始めて7月ころには的中率が6割を超えた。7月に練習試合があり、初めて試合に出場することになった。試合当日緊張感の中始まりました。射位に入ると足が震え、心臓はバクバク、足は震えての緊張感、いわゆる「上がり」の状態で試合は終了した。最終的な的中率は7割という練習以上の結果を

出すことができた。その時上がつてもいいスポーツがあつたんだと思うようになりました。そして、上がつてもいい弓道にのめり込みました。あがつてもいいんだと自己暗示にかかりました。試合・審査、上があれば結果が付いてくるので恐怖感は消えました。

○ 教本に「気は技に優先する」とあります、的中に自信があれば「技は氣に優先する」となります、的中率アップを目指して欲しいものです。

○ 的中華の向上を図るためには、
自分の方のセリフをやり切る
ことです。

そのためには、中る人の方を
まねして自分の方を確
立する。

良い指導者に従い、見取稽古・工夫稽古・数稽古、を重ねる。

○ 記録を付け、自分にブッレ
シャーを掛ける中率に挑戦し自
信をつける。
仲間と競射をして自己の心の
動きを観察し心の持ち方を改善
する。
暗示には他者暗示と自己暗示

がある。
褒められたら10倍も20倍も自分の自信にする。
指導者は良いところは褒める

○ 道員の工夫
全日本選手権に県代表として出場し、10射皆中して優勝した年のハプニング。
大会の二十日くらい前、当たりはあるものの離れがすつきりしないのでビデオを毎晩見ているが原因がわからない。一週間

くらい経つたころ、もしかか妻手が離れでなにかしてるのではと思ひ、よく見ると離す瞬間妻手親指が曲がつて離しているのがわかり、碟の親指が折れていたので伸び合ひで親指を曲げて引き離していたのだした。直ぐに碟の修理に取り掛かる。プラステックを火であぶり碟の中に入れた親指が曲がらないように直したら、離れがスツキリして的確の星に集中するようになったのです。会では残身をイメージして離すと星に集中、会に入り詰め合ひ伸び合ひをして残身をイメージして離せば、星に中る。離せば中ると自己暗示がかなり大会に臨んだのです。

握りの幅・高さの工夫（中り

に影響あり)
 手の内は捻りと角見の働きが
 大切と思っています。購入した
 ままの握り幅では手幅に合わない
 場合があるので注意する。細
 いと捻りが効かない(矢は前に
 飛ぶ)。

○ 当て方は不動の会の確立に努
 め、全身を詰め合い、両肘を詰
 め、妻手肘と角見で張り合い、弓

手肘所を支点に角見て矢を的に押し込むように胸の中筋から分かれるように残身の弓手・妻手の位置をイメージして押し切る。以上、私見を述べましたが、不動の会から残身がきちつと取れる稽古をする。さらに矢数をかけて狙ったところに（的の中に狙いがあること）矢が集中するように練習することだと思います。

会 議 報 告

県外

全国地連会長会議

第1回 (R7/1/22)

オンライン

第2回 (R7/3/17~18)

東京都

関東地連会長会議

第1回 (R6/4/4) 東京都

第2回 (R6/9/7) 茨城県

県内

理事会 (R6/5/12)

代議員会 (R6/5/26)

講習会事業報告

県外

〔関東北地区〕

指導者講習会

(R6/6/8~6/9 5名)

県内

1、講師審査員研修会

(R6/4/7 水戸 59)

2、第1回六七段講習会

(R6/4/21 水戸 43)

3、第1回五段錬五講習会

(R6/5/19 水戸 43)

関東北地区指導者講習会

(R6/6/8 宇都宮 31)

(R6/6/9 宇都宮 31)

4、第1回地区別講習会

(水戸地区)

(R6/6/9 存心館 42)

5、第2回地区別講習会

(日立地区)

(R6/6/29 東海村 20)

6、支部指導者伝達講習会

(R6/7/7 水戸 35)

7、高体連弓道審判実技講習会

(R6/7/13 水戸 66)

8、中体連講習会

(R6/8/3 水戸 48)

9、第2回五段錬五講習会

(R6/9/15 水戸 47)

10、第2回六七段講習会

(R6/10/14 水戸 36)

11、教職員講習会

(R6/11/17 土浦 10)

12、第3回地区別講習会

(土浦石岡地区)

(R6/12/15 土浦 41)

13、第4回地区別講習会

(県西地区)

(R7/1/19 下館 29)

14、第5回地区別講習会

(県南地区)

(R7/1/19 水戸 30)

15、第6回地区別講習会

(鹿行地区)

(R7/2/9 神栖 19)

16、第7回地区別講習会

(水戸地区)

(R7/2/9 存心館 32)

17、教職員指導者講習会

(R7/2/16 土浦 9)

18、特別講習会

(R7/3/29 水戸 27)

(R7/3/30 水戸 27)

延べ参加者数 663名

県外大会 一般

第75回全日本弓道大会

R6/5/2(火)・3(水)

京都市勧業館「みやこめっせ」

第71回全日本勤労者弓道選手権大会

R6/6/7(金)・9(日)

プロシードアリーナHIKONE

日立製作所

(重藤・森貫・藤崎)

茨城県教職員

(上東・岡見・後藤)

第65回関東地域弓道選拔選手権大会

R6/9/8(日)

東日本技術研究所武道館弓道場

・有段者の部

宮川 晃弥

宮川 隼弥

伊藤 芳郎

中澤千枝子

横山あさみ

・称号者の部

塚本 重毅

大貫富士男

旗 美環

尾吹 将大

下津 隆明

全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会

R6/7/28(日)

神奈川県立武道館弓道場

・男子の部

塚本 重毅

下津 隆明(一次通過)

米山 良美(選出)

尾吹 将大(選出)

・女子の部

旗 美環

上田 有香

大森 絵鈴(選出)

吉村 静華(選出)

第75回全日本男子弓道選手権大会

天皇盃

R6/9/22(日)・23(月)

男子 尾吹 将大、米山 良美

第57回全日本女子弓道選手権大会

皇后盃

R6/9/21(土)・22(日)

女子 大森 絵鈴、吉村 静華

全日本弓道連盟中央道場

国民スポーツ大会

R6/10/5(土)・8(火)

多久市緑が丘弓道場

・成年女子

横山あさみ

三浦 彩加

大森 絵鈴

監督 旗 美環

・少年男子

高田 優太

龍野 至穂

北見 悠翔

監督 土居 義邦

第75回全日本弓道の遠的選手権大会

R6/11/25(金)・11/27(日)

栃木県総合運動公園弓道場

・男子の部

尾吹 将大

山口 純

・女子の部

大森 絵鈴

上馬 英子

第36回全国健康福祉祭ととり大会

(ねりんピックはたけ鳥取2024)

R 6 / 10 / 19 (土) ~ 10 / 21 (月)

鳥取県立武道館 弓道場

大金 勉、飯沼 幸一、

越川 春江、伊藤 芳郎、

杉山 義光

監督 大坪 亨

交代選手 金子 清美

令和6年度都道府県対抗弓道大会

(オンライン)

R 7 / 3 / 20 (木)

大会本部・全日本弓道連盟事務所

東日本技術研究所武道館弓道場

1 大森 絵鈴 2 松尾 一郎

3 久保田 亮 4 宮川 晃弥

5 境 貴洋

監督 中嶋 鉄郎

交代選手 平根 伸彦

横山あさみ 大貫富士男

決勝トーナメント進出(ベスト8)

県外大会 自衛隊

第49回全自衛隊弓道大会

R 6 / 12 / 8 (日)

明治神宮至誠館第二弓道場

県外大会 教職員

第55回全日本教職員弓道選手権大会

R 6 / 8 / 10 (土)・11 (日)

神奈川県立武道館弓道場

県外大会 高体連

第68回関東高等学校弓道大会

(栃木県 R 6 / 6・8・9)

男子団体の部

・予選通過 日立第一

・予選敗退 下妻第二、

清真学園

男子個人の部

・優勝 高田 優太(石二)

女子団体の部

・優勝 水戸第二

・予選敗退 竹園、石岡第一

女子個人の部

・第2位 阿久津和奏(水二)

・第4位 高田 凜桜(清真)

・女子個人技能優秀

高田 凜桜(清真)

第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会弓道競技

(山梨県 8 / 17・18)

少年男子の部

・近位1位、遠位5位、総合2位(通過)

少年女子の部

・近位4位、遠位5位、総合5位(不通過)

第69回全国高等学校弓道大会

(長崎県 8 / 3・6)

男子団体の部

・決勝トーナメント1回戦敗退 日立第一

女子団体の部

・予選敗退 石岡第一

男子個人の部

・決勝敗退 北見 悠翔(日二)

予選敗退 高田 優太(石二)

女子個人の部

・決勝敗退 鈴木 奏音(水二)

予選敗退 能勢 陽(境)

第43回関東高等学校弓道個人選手権大会

(東京都 9 / 14・15)

男子の部

・第8位 北見 悠翔(日二)

女子の部

・第3位 鈴木 奏音(水二)、

第4位 藤本 柚葉(水二)

第78回国民スポーツ大会弓道競技

(佐賀県 10 / 5・8)

少年男子の部

・近位16位、遠位19位(予選不通過)

第1回関東高等学校弓道選抜大会

(東京都 11 / 23・24)

男子団体の部

・予選敗退 清真学園、

日立第一、下妻第二

男子個人の部

・第3位 岩倉 佳彦(水城)

女子団体の部

・予選敗退 土浦第三、

石岡第一、下館第一

女子個人の部

・第2位 大槻香々菜(海二)

第43回全国高等学校弓道選抜大会

(三重県 12 / 25・27)

男子団体の部

・決勝トーナメント1回戦敗退

清真学園

女子団体の部

・予選敗退 下館第一

男子個人の部

・決勝敗退 龍野 至穩(桜牧)

予選敗退 根津 広大(藤代)

女子個人の部

・準決勝敗退 大槻香々菜

(海二)

予選敗退 井上 春胡(竹園)

第23回東日本高等学校弓道大会

(山形県 3 / 22・24)

5人制男子の部

・予選敗退 石岡第一、境

5人制女子の部

・第3位 水戸第二

予選敗退 石岡第一

3人制男子の部

・予選敗退 石岡第一、境

3人制女子の部

・優勝 水戸第二

決勝トーナメント1回戦敗退

石岡第一

県外大会 中体連

第34回関東中学生弓道大会

(東京 8 / 8)

男子団体の部

・準優勝 清真学園中学校

男子個人の部

・第6位 守野 大志

(清真学園)

▼女子個人

- ・優勝 木村 莉乃(千波)
- ・第4位 加佐見心陽(稲田)

第21回全国中学生弓道大会

(中央 8/17・18)

▼男子団体

- ・ベスト16 清真学園中学校
- ・女子団体
- ・ベスト16 阿見中学校

連盟後援行事

村松山弓道大会

(4/7)

鹿島神宮弓道大会

(4/29)

神栖弓道大会

(5/19)

あやめ祭弓道大会

(6/9)

県南弓道大会

(9/29)

県西弓道大会

(2/9)

観梅弓道大会

(3/22)

土浦桜祭り大会

(3/30)

茨城県弓道連盟主催(管内大会結果)

春季大会

R 6/4/14

▼有段男子の部

- 優勝 笹沼 健一
- 準優勝 安田 智哉
- 第3位 石井 利男
- 第4位 関口 信夫
- 第5位 高野 陽人

▼有段女子の部

- 優勝 鈴木 明美
- 準優勝 中野 公子
- 第3位 高木 美穂
- 第4位 江橋 宏美
- 第5位 衣川ひなの

▼称号者の部

- 優勝 辻 尚宏
 - 準優勝 尾吹 将大
 - 第3位 瀧口 真央
 - 第4位 菊地 俊和
 - 第5位 下津 隆明
- 射技優秀
- 第一射場 平野 伸彦
 - 第二射場 中野 公子

選手権予選大会

R 6/5/18

▼有段者男子の部

(決勝大会進出者)

- 高野 陽人・安田 智哉
- 宮川 晃弥・栗島 則夫
- 宮崎 隆之・黒澤 信和
- 宮川 隼弥・市毛 隆行
- 石井 利男・伊藤 芳郎

▼有段者女子の部

(決勝大会進出者)

- 宇留野里香・桑名 郁子
- 上東 萌・中澤千枝子
- 横山あさみ・石井恵理子
- 加藤 朋子・鈴木 明美
- 岩間 久江

▼称号受有者男子の部

(決勝大会進出者)

- 久保田 亮・下津 隆明
- 白井 一也・山口 純
- 境 貴洋・瀧口 真央
- 大岡 健司・門井 寿通
- 菊地 俊和・塚本 重毅
- 大貫富士男・大崎 真一
- 大峰 芳樹・郡司 武満
- 米山 良美・福地 平
- 矢野 大輔・尾吹 将大
- 辻 尚宏・後藤 裕一

▼称号受有者女子の部

(決勝大会進出者)

- 柴原一利子・古山 道子
- 上田 有香・鈴木 裕美
- 小泉 公子・木村亜紀子
- 村上 美穂・黒澤 智子
- 吉村 静華・大森 絵鈴
- 旗 美環・柴山 純子

選手権決勝大会

R 6/5/25

▼有段者男子の部

- 最高得点賞 宮川 晃弥
- 優勝 宮川 晃弥
- 準優勝 宮川 隼弥
- 第3位 伊藤 芳郎

▼有段者女子の部

- 最高得点賞 上東 萌
- 優勝 上東 萌
- 準優勝 横山あさみ
- 第3位 中澤千枝子

▼称号者男子の部

- 最高得点賞 後藤 裕一
- 優勝 塚本 重毅
- 準優勝 大貫富士男
- 第3位 尾吹 将大

▼称号者女子の部

- 最高得点賞 大森 絵鈴
- 優勝 大森 絵鈴

準優勝 旗 美環

第3位 村上 美保

▼関東選手権派遣(有段者)

- 宮川 晃弥
- 上東 萌
- 宮川 隼弥
- 横山あさみ
- 中澤千枝子

▼関東選手権派遣(称号者)

- 塚本 重毅
- 下津 隆明
- 大貫富士男
- 尾吹 将大
- 旗 美環

▼全日本関東予選男子派遣

- 塚本 重毅
- 下津 隆明
- 米山 良美
- 尾吹 将大

▼全日本関東予選女子派遣

- 旗 美環
- 上田 有香
- 大森 絵鈴
- 吉村 静華

県民総体

R6/6/2

男子三段以下

優勝 宮川 晃弥

準優勝 荒木 道備

第3位 梅澤 英利

第4位 萩谷 直人

第5位 安田 智哉

男子四段以上

優勝 松尾 一郎

準優勝 平原 勝己

第3位 石井 利男

第4位 増尾 裕次

第5位 飯沼 幸一

女子三段以下

優勝 鈴木 明美

準優勝 有田 更紗

第3位 三浦 彩加

女子四段以上

優勝 大森 絵鈴

準優勝 石井恵理子

第3位 菅原 智子

第4位 島崎かおる

第5位 畠山 明子

称号受有者男子

優勝 白井 一也

準優勝 山口 純

第3位 大貫富士男

称号受有者女子

優勝 吉村 静華

準優勝 古田土百合子

第3位 瀬端 裕子

遠の大会

R6/7/6

男子四段以下

優勝 安田 智哉

準優勝 千葉 大地

第3位 田村 寛章

第4位 高野 陽人

第5位 宮川 晃弥

男子五段以上

優勝 尾吹 将大

準優勝 山口 純

第3位 福地 平

第4位 菊地 俊和

第5位 安藤 勝利

女子四段以下

優勝 松尾 百花

準優勝 横山あさみ

第3位 三浦 彩加

第4位 小沼唯織里

第5位 該当者なし

女子五段以上

優勝 大森 絵鈴

準優勝 上馬 英子

第3位 吉村 静華

第4位 柴原一利子
第5位 該当者なし

夏季錬成大会

R6/8/24

団体戦

優勝 神栖 A

宮川(晃)・宮川(隼)・
本間・磯野・石田

準優勝 日製(日立) A

木本・重藤・笹沼・藤崎・
久保田

第3位 北総 A

安田・橋本・山室・青木・
齊藤

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

第3位 茨城 A

尾吹・川又・小林・千葉・
郡司

三段の部

優勝 安田 智哉

準優勝 宮川 晃弥

第3位 宮川 隼弥

第4位 矢口 裕章

第5位 橋本明翠香

優秀賞 宮川 晃弥

四段の部

優勝 荒木 道備

準優勝 飯沼 幸一

第3位 照沼 勇一

第4位 橋 是るか

第5位 文倉 和彦

優秀賞 橋 是るか

五段の部

優勝 島崎かおる

準優勝 島田 嘉隆

第3位 藤崎 英治

第4位 菊地 凛

第5位 谷越 敏彦

優秀賞 島田 嘉隆

称号受有者

優勝 後藤 裕一

準優勝 河合 徹

第3位 久保田 亮

第4位 山口 純

第5位 古俣 正喜

中野杯

R6/10/6

男子の部

優勝 竹内 克直

準優勝 増田 誠也

第3位 伊藤 芳郎

第4位 木村孝太郎

第5位 窪田 康徳

女子の部

優勝 橋 是るか

準優勝 秋山知賀子

第3位 橋本明翠香

第4位 有田 更紗

第5位 上東 萌

称号受有者

優勝 境 貴洋

準優勝 小堀 富男

第3位 福地 平

第4位 大崎 真一

第5位 宮下 文子

支部対抗

R6/11/24

団体戦

優勝 水戸射友会 A

萩野谷・加藤・高羽

準優勝 水戸桜川 A

新年射会

第3位 井坂・飯沼・境
霞ヶ浦A
第3位 茨城A
本橋・島田・下津
川又・尾吹・千葉

R7/1/12

三段以下

男子
優勝 岡野 斗馬
準優勝 重藤 瞬
第3位 菅原 龍真
第4位 丸山 彰
第5位 稲垣 太郎
女子
優勝 山田 陽子
準優勝 鈴木 茜
第3位 古川真由美
第4位 萩谷 成子
第5位 鈴木 咲

四・五段

男子
優勝 荒木 道備
準優勝 畠山 智光
第3位 志田 正実
第4位 新山 晃一
第5位 石井 利男

称号受有者

女子
優勝 福地 京子
準優勝 横山あさみ
第3位 綿引 育子
第4位 市毛 文絵
第5位 関 深雪

男子

優勝 和栗 淳
準優勝 境 貴洋

第3位 大貫富士男

第4位 菊地 俊和

第5位 白石 直之

女子

優勝 大森 絵鈴

準優勝 柴原一利子

第3位 瀬端 裕子

第4位 鈴木 裕美

第5位 吉村 静華

勤労者大会

R7/2/15

団体戦

優勝 日製日立B
重藤・藤崎・木本

準優勝 日製日立A
笹沼・竹之内・久保田

春季大会

R6/5/3

男子の部

優勝 星 浩一

準優勝 千葉 一茂

第3位 白石 直之

第4位 萩原 裕一

第5位 高橋 啓市

女子の部

優勝 八巻 千夏

準優勝 上東 萌

第3位 高松 宏子

総合の部

優勝 星 浩一

秋季大会

R6/11/17

男子の部

優勝 山口 薫

準優勝 中嶋 鉄郎

第3位 後藤 裕一

第4位 岩田 隆

第5位 栗田 克紀

女子の部

優勝 上東 萌

準優勝 佐藤 敬子

第3位 八巻 千夏

総合の部

優勝 上東 萌

高体連県内大会結果

春季大会兼関東大会県予選

R6/5/10 (男子)

R6/5/11 (女子)

R6/5/14 (個人)

男子団体

優勝 日立第一

準優勝 清真学園

第3位 下妻第二

女子団体

優勝 石岡第一

準優勝 水戸第二

第3位 竹園

男子個人

優勝 川股 亮介(日一)

準優勝 長谷川司哉(水工)

第3位 龍野 至穂(桜牧)

第4位 高田 優太(石一)

第5位 豊田 滉人(清真)

女子個人

優勝 阿久津和奏(水二)

準優勝 三林 夢果(石一)

第3位 高田 凜桜(清真)

第4位 能勢 陽(境)

第5位 西山 京(水一)

県民総体予選 全国総体予選個人
国入水茨城大会

R6/5/31 (男子)

R6/6/1 (女子)

男子個人

優勝 北見 悠翔(日一)

準優勝 高田 優太(石一)

第3位 阿部 広誠(竜南)

第4位 野原 春輝(鋒一)

第5位 谷古瞬一朗(栄進)

第6位 宮本 悠輝(妻一)

女子個人

優勝 鈴木 奏音(水二)

準優勝 能勢 陽(境)

第3位 中村 未冬(石二)

第4位 蛭原 莉奈(取一)

第5位 中村 心美(清真)

第6位 鬼澤 舞(水二)

国入水選手選考会

R6/5/17 (1次)

R6/5/26 (2次)

候補選手

男子 高田 優太(石一)

龍野 至穂(桜牧)

北見 悠翔(日一)

監督 土居 義邦(石一)

女子 三林 夢果(石一)

塚原 梨未(水二)

高田 凜桜(清真)
監督 佐久間和彰(清真)

県個人選手権兼関東個人選手権県予選会

R 6 / 8 / 9 (男子)

R 6 / 8 / 10 (女子)

R 6 / 8 / 11 (決勝)

男子総合

優勝 岩倉 佳彦(水城)

準優勝 高田 優太(石二)

第3位 豊田 滉人(清真)

女子総合

優勝 鈴木 奏音(水二)

準優勝 跡部 和奏(水二)

第3位 曾ヶ端柚奈(清真)

男子1年

優勝 大川 友綺(江総)

準優勝 木内 逢二(水工)

第3位 中崎 颯太(水工)

女子1年

優勝 石井 愛梨(水二)

準優勝 村松 結(桜牧)

第3位 栗田 奏(水三)

第4位 村田 美来(江取)

第5位 鮎川 結芽(境)

新人大会 兼 関東選抜予選兼
全 国 選 抜 予 選

R 6 / 10 / 26 (男子)

R 6 / 10 / 27 (女子)

男子団体

優勝 清真学園

準優勝 下妻第二

第3位 日立第一

女子団体

優勝 下館第一

準優勝 石岡第一

第3位 土浦第三

男子個人

優勝 龍野 至穂(桜牧)

準優勝 根津 広大(藤代)

第3位 平井 春輔(鉾二)

第4位 岩倉 佳彦(水城)

第5位 前田翔太郎(竹園)

女子個人

優勝 大槻香々菜(海二)

準優勝 井上 春胡(竹園)

第3位 海老澤楓夏(妻二)

第4位 角田 寧音(取二)

第5位 野口 真菜(麻生)

県高校弓道冬季大会

R 7 / 1 / 25 (男子)

R 7 / 1 / 27 (女子)

男子団体

優勝 石岡第一

準優勝 境

第3位 清真学園

女子団体

優勝 石岡第一

準優勝 水戸第二

第3位 石岡商業

男子個人

優勝 成澤 優真(日二)

準優勝 妹尾 勇杜(波崎)

第3位 岡本 匠未(境)

女子個人

優勝 柴田 結羽(水二)

準優勝 初見穂乃香(境)

第3位 村越 陽遥(石商)

中野優勝旗大会

R 7 / 2 / 23

男子団体

優勝 江戸崎総合

準優勝 鹿島

第3位 波崎

女子団体

優勝 石岡第一

準優勝 水戸桜ノ牧

第3位 水戸第一

男子個人

優勝 妹尾勇杜(波崎)

準優勝 龍野 至穂(桜牧)

第3位 石丸陽大(土一)

女子個人

優勝 平田桃子(桜牧)

準優勝 佐藤雛依(石二)

第3位 任田百花(水一)

中体連県内大会結果

県総合体育大会

R 6 / 7 / 22

男子団体

優勝 清真学園中

準優勝 阿見中

第3位 竹来中

女子団体

優勝 阿見中

準優勝 清真学園中

第3位 稲田中

男子個人

優勝 宮崎 維馬(阿見)

準優勝 本橋 駿翔(龍ヶ崎)

第3位 中込 薫(清真)

女子個人

優勝 長久保美羽奈(稲田)

準優勝 島田 花帆(阿見)

第3位 佐藤和結羽(東海)

中野優勝旗大会

R 6 / 7 / 31

男子団体

優勝 阿見中A

準優勝 城西中A

第3位 清真学園中A・清真学園中D

女子団体

優勝 清真学園中A

準優勝 東海中A

第3位 阿見中A・稲田中A

男子個人

優勝 大曾根慶彦(茨城)

準優勝 大崎 蓮(清真)

第3位 本橋 駿翔(龍ヶ崎)

女子個人

優勝 根本 夏希(清真)

準優勝 茂木 優和(阿見)

第3位 澤畠 希依(東海)

県新人大会

R 6 / 10 / 22

男子団体

優勝 清真学園中

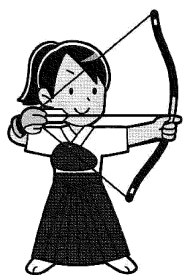
準優勝 土浦一中

第3位 東海南中

女子団体

優勝 清真学園中

準優勝 東海中



第3位 城ノ内中

▼男子個人

優勝 鎗木 大和(清真)

準優勝 安齊 悟志(清真)

第3位 小沼 舵央(清真)

▼女子個人

優勝 濱野 花帆(清真)

準優勝 渡邊陽咲葵(清真)

第3位 山本 優衣(龍ヶ崎)

武道フェスティバル

R 6/11/16

▼男子の部

優勝 大崎 蓮(清真)

準優勝 青山 龍二(阿見)

第3位 守野 大志(清真)

▼女子の部

優勝 渡邊陽咲葵(清真)

準優勝 根本 夏希(清真)

第3位 細見 亜珠(東海南)

地区だより

鹿行地区

神栖市支部 川瀬 政人

鹿行地区は以前9支部ありましたが統合、解散、等で現在7支部です。私の所属する神栖市支部の活動を紹介します。

弓道場は緑豊かな神之池公園に隣接しており、その神之池(一周5km)は、19年の茨城国体で、カヌー競技会場、'20東京オリンピックでユニジャ国のカヌー練習会場にも使われました。

そんな環境にある弓道場で練習していると、公園をジョギングや散歩の途中に足を止めて練習風景を窓越しに観て行かれる人も多い。

支部登録会員は35名、教士3名、錬士11名、一般21名、にて活動しております。

神栖市支部一年間の主な行事は、1月・武道館鏡開き、2月・節分射会、3月・ひな祭り射会、4月・花見射会、5月・神栖市弓道大会、6月・9月・弓



道教室開催(今年で43回)、11月・秋季弓道大会、12月・納射会。その他に毎月、例会を実施。優勝者は翌月の例会にて矢渡の射手を務め、介添の研修も兼ね、目標に向かって稽古に励んでおります。

また、近隣・近郊支部との交流も深く、その大会に参加し親交を深め、日頃の練習の成果を楽しみながら切磋琢磨しています。

年間行事の中で一大行事である5月開催の「神栖市弓道大会」は今年で46回を数え、4年後には半世紀を迎える事となります。

今年は、お陰さまで天候にも恵まれ、参加者は一般145名、高校生69名の214名で、盛会に終わることが出来ました。終了後、射止めた賞状・商品を前に記念撮影をし、来年こそは優勝!!を誓い合って散会しました。以上



上達を目指して——大会講評に学ぶ

大会閉会式で最後に先生方から講評をいただいておりますが、大会結果と共にホームページに掲載していた時期がございます。蘊蓄（うんちく）に富む内容でたくさんご紹介したいのですが、紙面の都合上6人の先生方、それも抜粋になることをお許しください。

◎ 柴田 猛先生

弓道には、技法と心法がある。射法は教本があるが、心法には教本がない。普段の練習や日常生活から心と対話しながら自分を理解し対応策を練る。試合では、特に団体戦では平常心が狂ってくる。私はあがり性だが、上がっているときに無心の状態になっている。自分の心と対話しながら、はっとするときの心の持ち方が重要。そこで平常心が保てるか。中る人はそれができる。中る人の姿を見てまねをする。教わっても、すぐにはできないから、まねをする。絶対に外れない射がどこかにあるはず。自分の心を見つめて、どうすれば平常心を保てるか考えてほしい。

◎ 久保田 清先生

なぜ中らなくなるか？日頃の練習で、自分の欠点というか、これこれこういうときに中らなくなる、そのこういうときというのをしっかり把握し分析して、どう対処したらいいのかということを考えて練習しないと、いつも同じ失敗のくり返しになってしまう。次のときには前回の失敗を繰り返さないということの積み重ねで伸びていくしかないと思うんですね。

◎ 橋本 真也先生

今日、式段から始まって参段と進んだ時点で感じたことは、理に叶った弓をきちんと引いているということでした。ところが、四段、五段と進むに従って、骨法も、筋肉の均衡も崩れて来ているのです。（中略）私は、道場に「明珠在掌（めいじゅざいしょう）」と書いた木彫りの横額を掛けています。明るい珠すなわち宝物は、すでに掌にあると言っています。式段、参段の時期に掌の中に在った宝物を、四段、五段と進むにつれて何処にやってしまったのでしょうか。（中略）弓道は立禅と言われています。「捨てなさい。そうすれば、本来の自己が顕現する」と教えます。どうぞ、掌に在る原石の中から、宝石を削り出し、それを磨いて下さい。それぞれの先生の下で、もうしばらく、何を捨てるべきかを学んで頂きたいと思います。

◎ 白石 直之先生

残心（残身）から弓倒し、物見返しがきちんとできていない。昔、ある先生が、「弓手は自分で見える。離れは自分では見えない。だから、離れは人から指摘してもらわなければわからない。でも弓手は自分でわかる。残心で自分の手の内がどうなっているか、拳の位置がどこに行っているか、高さがどの位置に行っているかは残心（残身）で確認できる。

◎ 中嶋 鉄郎先生

関東選抜大会（群馬）、有段者の部は一手3回で競うのですが、6射皆中が6人いました。5位までの表彰なので、その後射詰競射になります。6人とも一手皆中でした。8寸的に替わり、一人抜きました。5人残って、最終的に優勝者は8寸的で4本詰めました。つまり、関東選抜有段者の部は、そこまでいかないと勝てない、ということです。見てみると、まず会の安定がすばらしい、縦横十文字も非常に安定して、離れがきちんとしている。

◎ 大峰 芳樹先生

私自身の話をします。講習会で範士の先生方からご指導を受けます。ここはこうだと言われてその場で行射すると、とてもいい感じで引けます。ところが、1日、2日…1週間と、毎日練習しているとまた元に戻ってしまうような経験をしたことがあります。（中略）皆さんも先生方に指摘されているところがあると思いますが、毎回同じところを指摘されるということではなくて、その指摘されたところを自分で克服して次の講習会に臨む努力をすることが重要だと考えております。そのためには、先生方にご指摘いただいたことについて、教本や参考書を見ながら、これこれこういうふうによればいいんだと自分の言葉に置き換えてメモ書きし、体で表現することを重ねていくといいのかなと考えます。

令和6年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	段位 称号	氏 名	所 属	取得日	審 査 会 名
1	六段	宇留野 純 平	東 海	R6. 7.14	【仙台】定期中央審査会
2		荒 木 広 大	土 浦 亀 城	R6. 9.29	【関東地区】臨時中央審査会
3		柴 山 純 子	湊	R6. 11. 9	【東京】定期中央審査会
4		岡 田 敏 樹	龍 ケ 崎	R7. 2.23	【名古屋】定期中央審査会
5		古 山 道 子	藤 代		
6		大 金 義 昌	取 手		
7		財 津 昌 子	日立市中央	R7. 3.16	【四国地区】臨時中央審査会
8	七段	大 峰 芳 樹	取 手	R7. 2.21	【名古屋】定期中央審査会
9	錬士	松 尾 一 郎	つ く ば	R6. 9.14	【九州地区】錬士臨時中央審査会
10		小 幡 貴 司	土 浦	R6. 9.28	【関東地区】臨時中央審査会
11		増 尾 裕 次	稲 敷		
12		島 崎 かおる	堀 原	R6. 11. 8	【関東地区】錬士臨時中央審査会
13		大 森 絵 鈴	藤 代		
14	教士	梶 直 子	神 栖	R6. 7.13	【仙台】定期中央審査会
15		高 野 敬 光	鹿 嶋	R6. 11.10	【東京】定期中央審査会

令和6年度 連合審査会 合格者

No	取得	氏 名	所 属	取得日	審 査 場 所
1	五段	宮 崎 隆 之	水 戸	R6. 5.12	第1回【東京】関東地域連合審査会
2		加 藤 真佐美	水戸射友会	R6. 5.19	【神奈川】関東地域連合審査会
3		福 地 京 子	水戸射友会	R6. 6.23	【群馬】関東地域連合審査会
4		竹 内 克 直	北 茨 城	R6. 8.11	第2回【東京】関東地域連合審査会
5		窪 田 康 徳	東 海	R6. 10.12	【埼玉】関東地域連合審査会
6		赤 荻 治 久	下 館	R6. 10.20	【茨城】関東地域連合審査会
7		早 瀬 一 基	下 館		
8		磯 崎 久美子	湊		
9		大 熊 廣 明	牛 久	R6. 11.17	第3回【東京】関東地域連合審査会
10		李 鳳 善	龍 ケ 崎	R7. 2.16	第4回【東京】関東地域連合審査会
11		飯 沼 幸 一	水 戸 桜 川		